

◎ 小中学生保護者自由意見

- ・読書の時間が毎日あると良いのかと思う。
- ・周りでは習慣的に本を読んでいない子どもたちが少なく思います。
- ・我が家では生まれて間もないころから読み聞かせをしていました。それが関係しているのかはわかりませんが本が大好きです。図書館の利用頻度も多く、もっといろいろな本にふれて欲しいです。
- ・図書館での読書感想文や子どもたちのおすすめの本の紹介など、さらに楽しく本に触れ合うイベントがあるといいかと思えます。
- ・子供たちが学校の図書室が大好きです。
- ・好きなシリーズの新刊が出るのを楽しみにしています。
- ・新しい本を導入していただけるのが大変ありがたいです。
- ・子供の興味がある本や、ためになる本をすすめている。
- ・わくわく、ドキドキするような図書館をつかって欲しいです。旧古河、総和地区には図書館とよべる場所がありません。現状はただ本が置いてある場所がポツポツあるだけです。一日中いたくなるような、学校から帰ってきて行きたくなるような、そんな場所があれば、手にとって表紙をみるだけでも、どんなお話かな〜とチラッとみることからでも、少しずつ本に興味をわいてくるのではないのでしょうか。また、学校の図書室の本もいろんな本をもっと揃えられるように予算を増やして欲しいです。子供達は学校にいる時間が長いので、いつでも新しい本がよめるようになるといいです。
- ・図書館で本を借りるのは、行く手間、借りた本を置いておく場所等アナログ的要素が多いので、図書館で電子書籍などを貸し出ししてほしい（ネットのDVD貸出みたいなカンジで）
- ・3ヶ月健診でブックスタートから絵本を頂きました。また、幼稚園から誕生日プレゼントで毎年、絵本をもらっています。そういった形で、節目節目で絵本のプレゼントをするのはどうでしょうか。親が本をもともと読む人なら本の読み聞かせや図書館に行くハードルは低いと思いますが、もともと本を読まない親なら子ども達も本を読む習慣はなかなかつかないと思います。
- ・他に、年齢にあった面白い本を学校や幼稚園、保育園においてもらう。
- ・もっと、子ども達が自由に図書室へ行き来できるようにできたらいいと思う。
- ・本を読むことの大切さなどを子どもが生まれたときから随所随所で伝えていき、読書の大切さを伝えてあげられたらと思います。
- ・図書館に中学生が読む小説が少ないので、是非置いてもらいたい。
- ・読書は子どもにとっても親にとってもいい時間なのでもっと活動をしていきたいと思っていますが、コロナ禍で図書館に行く機会が減ってしまっているのが残念です。
- ・読みたくなる希望の本が学校ないのが現状みたいです。昼休みや休み時間が友人関係や準備で時間なく図書室に行けないのが辛いみたいです。
- ・もう少し近くに図書館がほしい。
- ・朝の10分読書。
- ・読書のあしあとや読書手帳など、読んだ本について書くのが苦手なのですが読書は好きなようです。いつもスマホをいじっているので、中学生、小学生用の電子書籍を無料でレンタル出来るシステムを作ってもらえると嬉しいです。
- ・他のお友達がどんな本を読んでいるか気になっているみたいなので、オススメの本の紹介を1人ずつしたり、先生が子供の時に読んでいた本の紹介をしてくれると楽しく読書が出来ると思います。

- ・子供が小さい頃は、さんさん館へ行き、おはなし会によく行きました。小学生になると、だんだん行かなくなってしまい、どちらかというとゲームに夢中になってしまい、学校の図書室で本読めるから、別に図書館行かなくてもいいや、になってしまいました。
- ・小学生を対象とした参加型のイベントや、図書館ならではの視点を持つ工夫があれば、図書館へ行く気持ちが出てくるのでは？と、思いました。
- ・古河出身の作者が書いている、『SPY FAMILY』を各学校に置いて欲しい。最初は漫画からでもいいので、子供達に読むことに興味を持って欲しいし、古河出身で頑張る人を身近に感じて欲しい。
- ・本をよむことはとても大切です。紙の本を読む機会をもっと大切にしていきたいと思います。
- ・小2息子の母ですが、マンガ形式になっている慣用句、四字熟語、ことわざの本は良いと思います。ドラえもののマンガのことわざの本は熱心に読んでいました。
- ・化学漫画サバイバルシリーズ、学研まんがでよくわかるシリーズ、学習まんが系の本をよく図書館や図書室で借りてきます。
- ・平日は帰宅後、宿題に追われて、なかなか読書が出来ないので学校の休み時間などに学校または家から持ってきた好きな本を毎日読書する時間があっても良いと思います。
- ・大人が読まないのに子供にばかり読ませようとしても響かないと思うので、最初は面白おかしく楽しみながら一緒に読むのが良いと思います。
- ・小さい頃からの習慣が大切だと思います。赤ちゃんの頃から字が読めなくも読み聞かせをしていました。今ではストレス発散が読書になっているくらい本が大好きです。
- ・親が働いていると時間に余裕が無く、家に帰ってからは宿題もあるのでゆっくりとゆうのはなかなか難しい。学校や学童の中であえて時間を取らないと読めない。
- ・子供だけに読書させようとしてもなかなかできないので、家族で短い時間でも、テレビ、スマホを離れて、読書タイムを作りたい。10分15分でも続けていたら、本を読む事が習慣にならないかなーという願望はずっとあります。残念ながら実現はしていません。
- ・スマホを使用している時間が長いので、読書の日を作りその時間だけは、スマホから手を放し本を少しでも読む習慣を、家族で持ちたいと思い提案してみましたが、1回だけでした。
- ・学校での、読書の時間がとても大好きだと言っています。本に触れられる時間をもっと設けてもらえたら嬉しいなと思います。
- ・小さい頃は、なるべく読み聞かせをしました。子供が興味を持った本を買ったり借りたりして、読める環境を作るようにしました。小学校での年間50冊目標や朝読書の時間も、子供にとって、いつも本を読む習慣付けになったと思います。
- ・もっと学校で本を読む時間(授業)などを作っただけだと、読書する習慣がつくのではないのでしょうか。
- ・家庭で本を読む習慣をつけようと思う。
- ・子どもの前で読書をする努力をしたり、読書時間をもうけ一緒に読む。
- ・ハードブックの本だと、持ち歩くのに大変だったりします。もう少し、持ち歩きが楽になるとよいと思います。
- ・子供が好きな本や流行っている新しい本を配備してほしいです。
- ・毎週、図書館を利用していますが、古い本が主流と感じます。
- ・マンガでも、歴史や理科的なもの知識になります。サバイバルシリーズも種類を増やして下さい。

- ・毎日時間がなくゆっくり本を読んであげる時間が作れていません。親子参加の読書会等ありましたら参加したいです。
- ・いつも図書室で借りてくる本のジャンルが固定されてきているので、自分が選んだ本とは別に、例えば先生かクラスメートの推薦図書の抽選などで偶然当たった本を読む機会があれば、それをきっかけに自分だけでは出会わなかった世界に興味広がるのではないかなと思いました。
- ・本は読んで欲しいが、ゲームには勝てないのが実状、学校で行って来ている朝読書は大変有難いと思う"
- ・学校で借りてくるのは、決まったものばかり。読書の幅が広がるような方法を知りたいです。
- ・保護者が読書し易い空間づくりで子供と足を運びやすくしてほしい。子供が園児の頃は葛飾区に在住。親子共々、図書館に行くのが楽しかった。
- ・小さい子どもがいると借りた本を汚したり破いたりしそうで気軽に借りにくいです。図書館自体が閉鎖的な感じがするのでもっとオープンな感じになれば行きやすいなあと思います。
- ・各種書物のネット配信がベストかと思います。今どきの小学高学年はほぼスマホ所有で、紙の本よりデジタルツールの方がハードルが明らかに低い。環境配慮的にも時代に則しているのではないのでしょうか。
- ・図書館の規模が小さく、狭くて、室内も暗い、と思う。
- ・私が結婚前に住んでいた自治体では、個人でも紙芝居を借りられました。鉄道駅の構内直結で大きな図書館がありました。古河駅前などにも図書館があれば良いかなとも思います。
- ・本の中に出てくる料理をみんなで作ったり、給食の献立に出てきたりするとともに本の世界を楽しめるかなと思います。
- ・休日に読み聞かせ教室などのイベントや、移動図書館などと触れ合うとまた興味がわくかなと思います。
- ・本が好きではない親が子供にどんな働きかけをしていいのかわかりません。
- ・今の子供達は書かない読まない聞けない話せないの4無いがほとんどだと思います。日本人としての国語は間違いなく崩壊します。スマホ、タブレットの学習も否定はしませんが図書や新聞などを授業で20分程読みその感想などを子供達どうして伝えあったり感想を述べ合うなどの授業が逆に必要になっているのかもしれない。
- ・図書室や図書館の利用を勧めたいです。朝読書を継続してほしいです。
- ・図書館が遠くて自分では行けない子もたくさんいる為、移動図書館が欲しい。
- ・小さいうちは読み聞かせをしていたが、最近はまったくやらなくなってしまった。ときどきでもやってあげたい。
- ・読書会、読み聞かせなどに参加していました。話を作る、考えて、自分用の本を作成したりもしました。今は、興味を引くように親子で、話し合いをしたりする事も必要かな？と考えます。
- ・まだ上手に読むことのできない低学年は、本の最初の数ページを読み聞かせする。その本に興味があれば、子供が自身で読む、又は読んでみようかなと考えるきっかけに繋がる。
- ・学校でも、本をたくさん読むように積極的に声かけをしていただいたり、読書手帳について子供たちもよくわかっていないかもしれないので、使い方について教えてもらい、本を読むことの楽しさを学べる授業をしていただけたら良いのではないかなと思います。今後ともご指導よろしくお願ひします。

・子ども向けの新刊は図書室や図書館でも人気があるが、古くても楽しい本はたくさんあることを知って欲しい。

・市内図書館の利用を未就学児の頃から活用してきたので、今でも子供たちは図書館で本を借りたいと言ってきます。何処の図書館に何の本があるか把握しており、指定してきます。今の現状だと子供が本に触れるのは学校で借りる本だと思います。借りた本に興味を持てたら、続きが読みたくなり図書館への利用と繋がればなと思います。我が家の子供たちは学校より図書館なら沢山あると知っているの図書館に行きたがります。図書館に行くとき新刊のコーナーなど、お知らせなどがあり子供に勧めています。こんな本があるよ、この本面白いよなどの情報が定期的にあつたら、尚興味が湧くのかなと思います。学校で本を借りれますが、自宅には持ち帰れず学校内だけの利用になるので、実際学校では時間がなくてゆっくり読めないと思います。そして、本を借りに行ける昼休みは、外で活発に遊ぶ児童と分かれてしまうので、学校で本を借りる子供は少ないのかなと感じます。読書イベント等学校であれば児童全員が取り組みやすいのかなと思います。学期末などでは3冊まで長期休みの際、自宅に持ち帰って来れますが、読書イベント期間中は持ち帰りが出来てゆっくり読めると良いなと思います。

・〇〇な時にオススメの本！など5冊くらい掲示してあると手に取りやすいと思います。

・子供から『読む』という事を求めてしまうのは難しいと思いますが、色々な話を朗読して耳に触れさせることはとても良いかなと思います。後は漫画の力も借りるのも〇。とにかく読む事が楽しいと子供が知ったら心の中でガッツポーズです。私も小学生の時の担任が朝の会か、帰りの会に必ず朗読してくれた本は、今でも忘れませんし、実際に持っています。

・読み聞かせなどを積極的に行う事は重要だと思います。今はなんでもネットで調べて動画等観て…という子供たちが非常に多く、一方的な情報だけに振り回されている子供も多いと思います。読み聞かせをしている時の子供達の「聞く力」「物語を聞いて、どんな風景が見えたか？」など想像力豊かな子供達を育てるために必要かと思えます。ただ、小学校PTA役員、保護者が行うだけでなく、地域ボランティア、映像なども取り入れて保護者、教師の負担は少なくする。など必要だと思います

・下の子の幼稚園では絵本の週末貸出をしてくれています。小学校でも似たようなことがあればな、と思います。

・本は色々な表現、文章と触れられるので読んだほうが良い。心の栄養になるし、自分のためになるもの。読んで損はしないもの。

・市内のどこの図書館に返却しても良いというのが便利で良いです。たまには違う市の大きい図書館にも行きたいのでその時にも借りられて、市内で返せると嬉しいです。

・学校行事や授業の一環として図書館を利用する機会が月に一回程度あると良い。

・私自身も、インターネットの普及で、本を読む時間がなくなっていることに気付きました。中学生になると、なかなか本を自宅で読ませるのは難しいので、教育活動の中で、子どもたちに、習慣的に読書の時間を設けていただき、少しでも読書に親しむことができると、ありがたいと思います。

・活発に読書をする為にはどのようにするのか、こちらの方が教えてほしいです。ゲームやタブレットなどの画面ばかりで、本を読んでほしいです。

・学校での読書タイムが楽しみようです。ずっと、続けていただきたいです。

・書籍購入の為の補助や図書カードなどの配布。自分で読みたい物を自分で購入する体験。子供自身が書店などで実際に購入する体験をさせる。

・自分で読みたい物を見つける事により自発的に本と向き合う習慣をつけさせる。学校での読書の時間、クラスで友達や先生などの読んだ本の発表会の様なもの(感想や簡単な絵などを描いたり etc…)を実施して色々な本に興味を持ってもらえる様に学習する。

・図書館でのお話会を開催してほしいです。

・こどもまかせにしないこと。まず大人が本を好きになること。大人の働きかけ、声かけ、環境作り、過ごし方などが、子どもたちの過ごし方に大きく影響していくと思う。

・学校からの宿題で、読書を導入していただけるといいなと思います。宿題、自学(四教科が中心)、習い事が終わると1日の中で読書の時間を意識して作ることが難しいので。

・自分は読めていませんが、親が読む姿をみれば子供も本に興味はもつと思います。親も興味をもってもらえるような紹介などが身近にあればありがたいです。

・もう少し子供が利用しやすい感じにしてほしい。暗い感じがする。

・学年に合わせた本の紹介。それを何冊か読む事を学年での目標にさせる。

・給食当番の割烹着のように図書を回してほしいです。

・読書が大切なのはわかるが、学校では沢山読んだ子がすごい!みたいになっている。分厚い本を1冊何日もかけて読んだり、お気に入りの本を何回も読むのはカウントされない。読む速度も、個人差があるから何分読んだかでもいいし、競わなくても良いと思う。

・中学校の図書室にはたたみが敷いてあるが、せっかくあるのに、寝転んだりしたら怒られる。

・ポカポカの日に芝生や畳に寝転んだり、学校のお気に入りの場所や、校長室のソファ等、自由に本が読める時間があったら楽しいと思う。

・子供達が興味を持つような本を年代別に並べて手にとって見れるスペースがあればいいなと思います。

・小学生の低学年コーナーや高学年コーナーがあると見つけやすいと思います。

・読書が苦手な子に、本に興味をもってもらうやり方が知りたい。

・本の種類にこだわらず、様々な本にふれるように促す。

・毎週、学校の図書室で本を借りる時間を作ってくれていることが大変ありがたいです。子どもも、とても楽しみにしています。高学年になっても続けて頂きたいです。

・図書館の充実。

・いろいろ頑張りましたが、読書好きにする方法は分かりませんでした。もっと図書館に連れて行けばよかったのかな?いつか読書の大切さに気付いてくれるのを待つのみです。

・無理に読ませなくて良いと思う。

・読書といっても小説や物語、なかには歴史と絡めた軍記物、科学的な事象が描かれた図鑑的なものからエッセイに至るまで、幅広く書籍はあります。読者活動を活発にするためには、子どもの興味、関心をもたせる授業や家庭での会話が大切だと思います。読書を勧めるだけで解決するものではないので、地道に子どもとの対話を繰り返すことが、遠回りのようで一番の近道だと思います。今回の質問の流れだと、親に読書の興味関心がないから、読書の環境が整っていないから、読者が活発化しないと、捉えてしまいます。こういったアンケートではなく、もっと子どもと話しができる環境、そしてこういったフリーな意見交換の場が、読書への啓発活動につながると思います。これを機に家庭でも読書活動に対して子どもと話をしていきたいと思います。学校でも子どもが、もっと知りたいという授業展開をよろしくお願いします。

・今はほとんど本を読んでいません。活字から情報を得るのではなく、インターネット等からの情報を利用しているので、読書する習慣はつかないと諦めています。時代の流れには逆らえないのではないですか。

・本の内容や、おすすめの部分を話してあげたり、情報があると興味を示すかなと思います。朝の読書時間は、是非続けて下さい。

・我が子は、図書館や学校での読み聞かせを通して、読んでみたい本が見つかったり、読書の楽しさを感じたりすることができたので、今はコロナでなかなか難しい面もあるとは思いますが、読み聞かせの場をたくさん設けて行って欲しいと思います。

・子ども達も時間さえあれば読書しています。学校図書館の本の内容、ジャンルをもう少し充実させてほしいと話しておりました。

・大きな図書館が市にあると良いです。ホームページや蔵書検索が携帯で見やすい様になると良いです。子供が学校で貸与されている Chrome ブックから蔵書検索機を利用し、ネット予約できると良いです。

・時間がなく読んであげるのは難しい。宿題的な本でも本人に読ませるのが難しい。

・読書時間を儲ける。

・市に大きな図書館が必要だと思います。また、ホームページや蔵書検索の方法など、充実すると良いです。(携帯のサイズになると良いです。)

・図書館や学校の図書室に子供の年代別に興味のある本やレイアウトで興味をそそる環境を沢山作って頂ければ嬉しいです。

・立ち寄りたくなるような図書館を作れば、子供達が本に触れる機会も増えるかも。視聴覚室や自習室なども兼ね備えた広くてキレイでおしゃれな図書館を古河市にも作って欲しい。

・本だけでなく、オーディオブックというものもあるので、別の方法もあると思います。

・漫画さえもあまり家では読まず、本を買ってくることもありません。本を読んで何か楽しいことや、新しい発見を見つけられるようになればいいと思っていますが、難しそうです。

・学校でも、もっと身近に、すぐに手元に届く場所に本を置いてほしい。

・休み時間は外へ行くのも大切だが、みんなで本を読む休み時間があってもいいと思う。

・図書館の借りられる本に制限をつけないで欲しいです。頻回に連れて行ってあげたいですが、なかなか難しく、特に長期休みは10冊なんてすぐに読み終えてしまうので、雑誌やDVDは点数制限をして書籍の制限を無くして欲しいです。図書館のおすすめコーナーや新刊が分かりやすく展示されているので、子供達は図書館が大好きでいつもお世話になっています。

・市立図書館の本は、インターネットで予約できるが、その予約した本を学校で受け取ることができると良いと思う。

・図書館の子供のスペースを新しく広くしてほしい。(東公民館を利用しています)

・学校の図書室のラインナップを幅広く取り揃えて欲しい!

・良いことかどうかは、わかりませんが、読書ポイントのような特典があると良いです。

・図書館で、本の探しかたがわからないとか、難しいとか思います。アドバイザーが居てくれたらと思います。

・本がもっと身近に、好奇心がそそられるようなアプローチがあったら子どもたちも本を手取るようになるのではないのでしょうか。

- ・図書館で沢山本を借りたいです。
 - ・野木町の図書館も利用していますが、読書手帳がいっぱいになって申請？すると、しおりがもらえたりするみたいで、子供にはいいなと思いました。あと、小学生が絵本を選んでいたとしても、それでも良いと思います。読みたいものを読ませないと読まなくなるからです。
 - ・読書を宿題に入れる。
 - ・家では自ら読むことはありません。でも、学校から帰ってくると『図書室でこんな本借りたよ』とか『借りたかった本が借りられて今日も借りれなかった』などと話してくれます。やはり、友達と一緒にだど楽しんで本を読むことができるんだと感心してます。これからも学校で読む機会を作っていたら嬉しいです。
 - ・大型絵本や紙芝居の読み聞かせなどを行って、少しでも本の楽しさを発見する手助けをしてあげる。
 - ・学校と家庭で連携して強制的にでも習慣化させる。
 - ・文字を読む事は、将来の勉強に役立つと聞いたので、学校でも本を読む時間を増やしてほしい。帰宅後や休日は習い事や家庭の用事等で、なかなか読む機会が無い。
 - ・学校の図書室では数が揃わずに、みんなが読みたい本を読めるわけでもないみたいなので、もっと充実できるといいなと思います。管理も大変だと思いますが…。また、普段手に取らない本でも、読み聞かせや昼食時の放送で聞かせるなど工夫してたくさん本に触れてほしいと思います。ぜひ本をたくさん読む子になってほしいか思っていますが、なかなか出来ないでいます。
 - ・図書室の利用頻度を増やす。
 - ・ゆっくり時間をかけて図書室の本を選ぶ時間があるといい。沢山ある中から選ぶ楽しさを知って欲しい。
 - ・個々人に合ったオススメの本を紹介するチャートなどがあると本を読むきっかけになり、少しは興味がわくのではないかな。
 - ・学校や、子供の健診の時などに読み聞かせの時間を作る。上の子の1歳半健診の時は、一家族に絵本をファーストブックという形で1冊頂きました。
 - ・同じように育てても、上の子は読書が大好きで、よく読んでいます。下の子は私同様全く読書に興味がなく、私同様、読んでいても内容が理解できないと言います。読書が良いことは分かっていますが、苦痛でしかないことをどうすすめてよいのか悩みます。
 - ・漫画も読書に入れてもいい。ゲームよりよっぽどいいと考えます。日本の素敵なカルチャーだと思います。
 - ・子どもが成長するにつれて本人が忙しく本を読む時間がなかなかとれないような気がします。
 - ・図書館の充実、図書館が近くにあると良い。
 - ・子供が小さかった頃は、1歳から保育所、小学校低学年では学童、そして、市の図書館と購入する必要がなく借りることで済んでいた。
- また、保育所の時は、保育所での読み聞かせをしてくれる、帰りも19時近くとなり、遅くまで残っていた方なので、そこでも先生方が読み聞かせをしてくれたり、大きくなると自分で読んで楽しんでいました。帰宅したら食事、お風呂等、バタバタしていてすぐに21時になり寝る時間となり、寝室では、子供が寝る時用のCD（英語バージョンの物語等）を聞かせていたので、本での読み聞かせはしませんで

した。なので、家庭での読み聞かせが必要とは思いません。家庭により過ごす時間も違いますので、我が家ではそれで十分でした。

- ・子供達は保育所、小学校で好きな本を借りてきてよく読んでいました。
- ・読み聞かせするしないで、本人が読書好きになるかはあまり関係ないかと。
- ・小さいときに読み聞かせをよくしていた知人の子供は、読書嫌いで小学校の目標の何冊読もうみたいなのが、全く進まない、と嘆いていたのを覚えています。
- ・中学生になってからは大幅に読書の時間は減りましたが、先日も自分で小説を買っていましたし、特に心配もしていません。
- ・読む子は読む、興味ない子は何を言っても読まないと思います。なので、活発にしようということを特にする必要を感じません。
- ・小さな頃から読書を習慣付けることが重要で、親や身近な人が、その為にどうすれば良いかを知り、自ら勉強することが必要。そうするための資料など家庭に配布してもらえれば、ありがたい。
- ・大人も子供も行きたがるような、図書館を作る。現状は、明るい雰囲気ではない。本の量が少ない。汚い。図書館で本を読むスペースが少ない。(学習コーナーのようなもの)
- ・学校の敷地内など、子供が自分で利用できる施設があればいいなと思います。
- ・学校では読んだ本のタイトルをプリントに書いていて、自分が今までに何冊本を読んだかすぐにわかるのが本人のやる気に繋がっているようです。
- ・授業短縮などで読書時間が減っているのに読者率を上げるのは大変だと思う。
- ・新生児がいて図書館になかなか行けないので、自宅へ取り寄せサービスがあったら便利だなと思う。
- ・小学校では、読書カードを取り入れていて、読んだ本が何冊かを超えると、しおりやメダルなどをプレゼントしてくれます。子どももとても喜んでおり、親としても嬉しいです。やはり、学校に司書教諭の方がいるととても良いと思います。
- ・中学校の図書館で、子供は、借りる時間、返す時間が、生活において、分からない所があり時間が無く、借りたくても、いろいろ考えてしまっています。
- ・学校で読書の時間を設ける。
- ・子供が読みたくなるような本があればいいと思います。
- ・子ども向けオススメ本通信を定期発行する。
- ・貸出、返却が図書館以外でもできると便利だと思います。予約して学校うけとりなど。学校図書も持ち帰って読めるといいです。
- ・朝の読書時間のおかげで読みたい本を探しに本屋に行く機会が増えた。ただ家だとどうしても時間が取れないので、学校で継続して読書の時間を取ってほしいと思う。
- ・家庭で不要になった児童書を手軽に寄付できる仕組みがあると良いと思う。コロナが流行するまではPTAの図書委員で読み聞かせがあり、親も子供たちも楽しみにしていたけど、今はなくなってしまったので残念です。もし可能であれば、読み聞かせの時間を確保して実践出来るといいなと思います。そして、読むのは絵本でも漫画でも簡単な好きなものでいいんだよ！と言うことで少しずつ読書に興味を持たせてあげられるといいかなと思います。それと、最近は何でもChromeブックばかりになってしまい、我が家の子供たちは読書をする時間がかなり減ってしまいました。週に1日位でもChromeブックを持ち帰らず、読書をしようの日みたいなのがあるとありがたいです。

・新しい本や話題の本が学校の図書館にあるようなので喜んで利用しています。本はよく読むのですが読書記録が面倒な様子です。記録させていきたいと思います。また、毎日図書室で貸し借りが出来たらよいのかなと思います。息子は週に一度だけ借りてきているようです。うちは古河の図書館ではなく、大利根の図書館を利用しています。沢山の本があり、駐車場も多く、家から近いのでそちらを利用しています。

・学校で読書の時間を作る。

・子供だけで行ける距離に市の図書館があればもっと気軽に利用できるのにとと思います。(福祉の森会館に図書室くらいの規模でもいいので、出来たらとても嬉しいです)

・教室におすすめの本を置いてみる。図書の先生目線でおすすめの本を選んで頂き簡単でいいので本の感想やおすすめポイントメモを本につけてもらう。(色々な本に興味を持ってもらう。)子供が読みたい本を置く。

・子供たちが本に興味を湧くようなおすすめ本(いろんなジャンル)のお便りを作って欲しいです。

・家庭だけでなく、学校で読書の時間があることで、読書をする習慣ができました。

図書館の本や施設の充実を図ってほしいです。

・図書館で借りた本を学校で返却できるとありがたい。

・教室だけではなく、様々な場所に手に取って読めるような環境があればいいと思う。

・大人が読書を楽しむ様子を当たり前にする。子供と本屋、図書館へ行く。テレビやネット、ゲームなどの刺激的で楽なものを簡単に取り入れられる環境下にある現社会では本の良さを伝えるのは困難かもしれない。私も、良い方法が知りたいです。

・学校の先生や友達から、これ面白いと、勧められて、子どもたちが、この本欲しい。とお願いしてきます。本なので、毎回買っています。先生と友達からのオススメ本は、気に入って、読んでいますので、これからも、オススメをお願いします。

・こういう本があるよ。など学校で紹介してくれると興味のある本が見つかると思う

・図書館を時々利用しますが場所によっては建物も本も古かったり子供が行きたいと思わない場所もあるように感じます。子供達が行きたい、友達同士で集まれる様な素敵な図書館が近くにあると嬉しいです。(総和地区に希望)

・小さい頃から読ませる。

・ビブリオバトルのような活動があるといいと思う。

・どうしたら読書するか。ではなく、どうして読書をしたがらないのか。読書が苦手な子の意見をたくさん聞いて、対策していただきたいです。

残念ながら我が家の読書苦手な子に聞いた事がありますが、国語も苦手なのでそもそも説明すら出来ません。国語への興味がわくような授業を！とは思っています。

・移動図書館などがあると、学校以外の本が読めて良いと思います。

・親が読書をしないと子供も読書をしないというのを聞いたのもっと大人が本を読む習慣をつけたいと思います。

・普段から本を読めるような環境にすることが大事なのかな？と思いました。

・興味のありそうな内容の本から家に置いて置いたら読んでくれるんじゃないかな？

とも思いました。

- ・読書に限らずスポーツや楽器の演奏など好き嫌いがあると思うので無理に進めなくても良いと思います。そんな活動しなくてもいいと思います。
- ・市内に図書館が少ない。蔵書量も少ない。
- ・市内の図書館や地域の図書室を何回か利用したことがありますが、子どもはあまり魅力を感じないようでした。保護者も同意見です。図書の種類、保有数を増やすなど、ほかの自治体を参考に、誰もが足を運びたくなるような空間づくりをしていただけたらと思います。
- ・市の図書館よく利用しています。学校の図書室も週に1回2冊ではなくもう少し利用したいようです。
- ・給食当番の割烹着のように図書を回してほしいです。
- ・毎日読み聞かせをしているが本人はあまりじぶんで進んで本は読まないの、学校の朝の自習など読む時間を5分でもあると良いと思う
- ・私にとって、本はなくてはならない物であるが、全ての人にとってそうであるとは言えないのではないか。私の子供は私が買ったり借りたりしてその辺に置いておいた本は勝手に読んでいます。分厚い本も苦もなく読んでいます本好きな子供ではあるが、興味のない本は全く読まないし、私も無理に勧めない。本になじめない子供に色々とおススメするのは、苦痛になるのではないかと思う。本を苦手だと思いついてしまったら悲しい。本好きをさらに本好きに、馴染めない子は何かのきっかけで手に取ってみようとするためには、とにかく様々な本を、いつでも手の届く場所に置いておくことが理想ではないだろうか。後は子供の気付きに任せるしかないと思う。
- ・もっと本と触れ合うことのできる環境を作って欲しいです。図書館へ行って借りるのではなく、教室に推薦図書が届き何冊かピックアップされた本が常に回ってくるなど。人件や手間がかかりますが楽しみになると思います。
- ・図書館に小さい子ども(0~3才くらい)と行くと、どうしても話し声などで、迷惑をかけてしまうのではないかと躊躇してしまいます。実際夏休みに課題図書を借りに、下の子(1才と4才)を連れて行ったときに、勉強している方がいたためか静かにして下さいと図書館のスタッフから声をかけられたことがあります。申し訳ない気持ちで足が遠くなりました。
- ・自主学习に読書をしてもいいではなく宿題として読書を出してもいいと思います。
- ・読書の時間をとってあげてほしい。
- ・学校で本を借りているそうですが、家に持ち帰ってこないの、持ち帰ってほしいです。夏休みに本を持って帰った時に、内容のことを質問するとトンチンカンな答えだったので、一緒に読みたいです。
- ・読まない本など 引き取ってほしい。
- ・旧古河地域に三和地区程度か、それより大規模の図書館を作って欲しい。公民館併設の図書館より、地域に親しめる大規模図書館で子供とじっくり本を探して、読みたい。
- ・本を読む環境を整える。例) 教室に本を置く。公共の場や学校の休憩場所やロビーなど、ちょこちょこしたところに本を置く。有名人(小学生が好きそうな人、アイドル、YouTuber)が子供の頃影響を受けた本を聞いてアナウンスする。
- ・学校で読書の時間を設けて全員が読むよう指導すればよいと思います。
- ・学校で本を借りるのが好きなようで、よく話をしてくれます。一冊だけ選ぶのが楽しそうです。

- ・調べるパソコンに三和にしかない、ユーセンターにしかないと書いてあるのがとても分かりづらい。三和にしかないなら三和、総和や古河にしかにしかないならそれで調べてくれるだけでいいと思う。他の場所まで調べて欲しいと必要と要望とする人にだけ答えるだけでいいと思う。
- ・学校や家庭でもっと読者の時間を増やす。興味を持たせる。
- ・子供達は本が好きですすめなくても学校で借りてきて読んでいます。の図書館もたまに利用しますが、中学年の子供が読む本が少なかったように思います。もう少し増やしてもらえると嬉しいです。
- ・親が先に読んでみて面白いと思ったら勧めてみる。
- ・インターネット時代で、読まなくても映像や音声で情報が入る世の中で興味が薄れるのは、仕方ないと思う。上記のアンケートで、漫画・雑誌を除くとあるが、入り口はなんでもいいのではないかと思う。自分の学生時代も漫画や雑談で漢字を覚え、ドラマや映画化された作品から原作に興味を抱き書籍を手取るという流れで読書に辿り着く経験があるので、何故に漫画雑誌を読書にカウントしないのか全く不思議でならない。読書の入り口をもう少し広げたらどうかと思う。
- ・図書館の本を充実させてほしい。古い本しかないので、読みたい本がありません。すぐ読破してしまうので、家で本を購入しております。学校での図書も増やしてほしいです。
- ・図書室の本を増やしてほしい。子どもの読みたい本が置いてないらしいので。
- ・種類を増やして欲しい。北川辺図書館まで借りに行く場合がある。話題の本がおいてあるけど、冊数が少なく、読めるまで時間がかかる。
- ・小学生の頃は時間に余裕があったので、学校の図書室で借りたり、教室にある本を読んだりしていましたが、中学生になると忙しく、なかなか読書の時間がとれないようです。成長につれて興味が多様化するので、学校一律で読書を活発に、というのは難しいように思います。学校の図書室ではなく市の図書館に皆で行く機会があったら、多様な本に触れられるのでよいと思います。子供用に用意された本では物足りない子もいるでしょうし。
- ・夏休みの読書感想文の強制などが、読書の苦手意識を助長させているのではないか、読んでも、読まなくても自由にすればいいと思う。日本の教育は、なんでもみんなでやりましょうが基本で個人の特性など全く尊重されていない。"
- ・もっとキレイで大きな図書館を街の中心に作ってほしいです。あちこち図書館があるのはいいが場所によって種類が少なかったり、借りたいものがなかったりします。子供達が自らいきたくなるような施設にしてほしいです。
- ・電子図書館を古河市でも導入してほしい。既に茨城県でも導入の市町村も増えているのに古河市は遅れていると思います。子供たちに本の魅力を伝えるためにも学校図書館専任の司書は必要だと思います。学校の先生だけだと図書館業務にまで時間を割けないのもあってか、NDCなど高校生になっても図書の探し方など知らない子が多いのも、学校で図書館に関することを教わる機会がないからだと思う。市町村の学校図書館に司書がいるかないかで、将来進学した際に図書館の利用に大きな差がでてくると思います。
- ・学校の図書室は、放課後など利用できる時間が増えると良いと思う。自宅外のほうがよく本を読んでいる。図書館に関しては、現在の市内の図書館(特に旧古河地区)は子供が気軽に利用できる雰囲気ではない。明るく開放的な空間、選びやすい本棚、図書館に行くことが楽しいと思える場所になると良い。YA向けの小説などを読む子供は多いので、足を運ぶきっかけとしてそういった蔵書を増やしてほしいと思う。元ネタの関連書籍も近くに並べるなど、工夫の余地がある。

・今の子は、ネットでなんでも、できてしまうから、これからどんな子に育つのか心配。本を読む機会も減り、スマホなどで読んでいるのをみているが、視力の低下も実際の所です。もっと、読書、本を気軽に触ってみることができればと。

・近くに図書館がほしい。

・自宅だと読書より好きなテレビや遊ぶことを優先してしまう。小学校で本を借りたり読書の時間をとってもらいありがたく思う。

・自分が読んだことのある本の中で、おすすめの本をお友達にも紹介して、興味を持ってもらう。本屋さんにあるようなポップを作って、本を紹介する。

・子供向けの読書イベントがもっと増えるといいと思います。

・小中学校に専任の司書を置いて毎日学校図書館を利用できるようにしてほしい。小学校のうちからレファレンスなどの仕方を学んで本に触れる時間を増やして欲しい。

・図書館や図書室の利用の推進、整備。図書室だと、かなり古く汚れた本も多い為新書も増やしてもらいたい。コロナ禍で難しいとは思いますが、イベント等で、もう読まない本の交換会のような場があると、本に触れる機会になってよいのではないかと思います。学校で、図書室の利用を呼びかけてくれることも続けていって欲しい。

・図書館が本に興味をもったり楽しい場所、行きたくなるような場所になるようイベントや季節の飾り付けなどやって欲しい。上辺見小近くのユースセンターの図書室は無人だし暗い感じで本を選ぶワクワクや楽しみが全くない。

・共働きの平日は自宅にいる時間の方が少ない状況です。児童クラブでどのような本が置いているのか分かりませんが、児童クラブでの本の充実化を望みます。(既にご対応頂いていた場合は申し訳ありません)

・学校でももっと、本を読む時間を設けてほしい。

・図書室へ行く活動をしているのであれば、借りた本に関しての感想を一言でも良いからまとめたり、読書手帳のようにするべきだと思う。読んだまま、なってしまうことがもったいなく感じる。

・図書館を整備してほしい。施設が古く、本の扱いも悪い、いきたいと思える図書館になっていない。近くに大きな書店もなく、たくさんの本に触れられる機会が極端に少ない。市民全体が読書をしたくなるような場所を作ることが良いと思う。

・市の図書館はよく利用しています。一人っ子ということもあるのか、よく寝る前に本を読んであげていました。今でも読んで欲しいとせがまれ、読んであげることもよくあります。図書室によっては老朽化が進み、本も古いものが多くある事を見かけます。あまりに古い本は入れ替えて欲しいと思ったこともありました。今では小学校の図書室に行く時間があるととても楽しいと言っていたので、本に触れてきたのがいい方向に行けばいいと思っています。以前は読み聞かせイベントにもよく参加させてもらい、楽しかったようです。

家では特にお気に入りの本は何度も何度も読んでいます。あまり本を読まないお子様も、お気に入りの作者や、テーマが見つかる本を読むきっかけになるのではと思います。

そのようなイベントや、取り組み(冊子やチラシなど)が手に取りやすいといいのかなとも思っています。

・学校でも読書の促しや案内はされていると思う。本の選択は自由なのでどの程度役に立っているかわからないが、敷居を低くするのが前提として、子供主体での本の紹介があってもいいのでは。親が選ぶと、どうしても役立つ本など難しく考えがちなので。

・学校でも、市の図書館に行く活動をして欲しい

・市の図書館が遠いので借りに行けないので、本屋に行った時は必ず子供が読む本を購入しています。学校の図書室の本を学年問わずいつでも貸し出し可能にして、種類もいろいろ増やしたらもっと本を読む子が増えるかもしれません。

・家では殆ど読んでくれないので、学校で本を読む習慣をつけていただきたいです。

・コロナ対応で休校や自宅学習のときこそ図書館を利用したいのに、利用できなくて残念に思ったことがあります。学校から本を借りてくるのが低学年の頃と比べて減りました。半強制的にでも借りさせて、読書体験を増やしてあげられるといいなと思います。

・興味のある事関係の本があるといい。

・何においても平均より劣っているのかどうかをみなさん気にされるのだと思います。it-serviceで周りの読書率などのデータが簡単なグラフでもあれば「あ、うちは遅れている、挽回しなきゃ」と感じたりするものではないでしょうか。

・親が子供に本を読んだらと言っても読まない。学校で読書の時間があるとありがたいです。

・漫画さえ読むことをしなくなってしまっています。読むこと以外に楽しめることがたくさんあるせいでしょうか？読むことによって面白い、何か知ることの面白さがわかるようになるといいなと思います。

・読書記録カードは、電子化してもいいのではないのでしょうか。そうすれば、入学から卒業までの記録が残せると思います。

・周りの大人が本に興味を持つこと

・図書館の児童図書のコーナーをできれば作者順にしてもらえると探しやすい

・家に子供達が読んでいた絵本や本など、もう読まないのが沢山あります。図書館や学校などで集めて頂き、欲しい子に配るなどして欲しいです。

・もっと身近に図書館を利用できるように働きかけをしてほしい。イベントなどを行っていますが、やっтерることすらわからないことが多い。周知方法を見直すべきではないかと思います。また、ラインなどを通して年齢ごとのおすすめの本などを紹介したりしてほしい。

近隣の図書館では、子どもたちが読んで、オススメだった本を紹介していた。そういった動きをすることで、もっと子どもたちが本に興味を示すきっかけになればと思います。

・学校の図書室の本の種類や数をできるだけ増やして頂けると有難いです。また、新刊もどんどん取り入れて頂けると嬉しいです。

・無理強いしないこと

・YouTube などを見てしまい、読書する事がほとんどない。図書館に行くようにしたいとは思っているが、難しい。

・学校での読書時間があったり、新しい本が図書室に見やすいところに配置されてたりと、子供からよく話をしてくれます。もともと、本は好きでしたが、小学校に入ってからもっと好きになったように思います。図書館もとても清潔感があり、とても楽しい場所です。引き続き行って頂ければ嬉しいです。

・アンケートに漫画が入ってないのは主旨としてはわかるのですが漫画で学べることも沢山あります。読書を強制したり漫画を悪とすることなく子供達が自由に本が読めるといいですね。そのためにも図書館はありがたく利用させてもらっています。

また、三和の図書館は綺麗で幼児スペース読み聞かせなど良いところですね。

・中央公民館は老朽化、ユースセンターは決して広くはありません。図書の保存に長け市民の利用しやすい図書館があるといいですね。

・日曜日や祝日なども営業してもらいたいです。昔は、公園に移動図書館とかきてましたけど、今は見かけないような気がします。大宮の三省堂書店や、さいたま新都心の紀伊國屋書店みたいな大きな本屋が古河市にはないので、できたら作っていただきたいです。東京にあるような図書館がほしいとは言いませんけど、ユースセンターの図書館の本とか新刊入ってきてますか？ない気がするの気のせいでしょうか？たぶん、学校の図書室の方があると思いますが、図書館にも新刊置いてほしいです。あかやまJOYの2階、図書館になりませんか？空いてる空間ありましたよね？でも、元はイトーヨーカドーでしたし、老朽化で難しいでしょうか？喫茶店と併設してる図書館あると理想ですよ。子どもに人気のある鬼滅、コナン、ポケモンのカードとか、文房具と交換できたりするといいかもしれないけど、難しいですよ。映画と関係あるような本とかあると、子どもは興味示すかもしれませんね。

・学校での取り組み強化、授業や学活共働き家庭が増える中の環境では一緒にの時間がとりにくい。学校に頼らざるを得ないです。本離れが進む現代ですので、新しい教育体制を取り入れてほしい。

・スポーツが題材になってる本は興味があるのでたくさんあればいいと思う。

・時間がない。勉強が、学校だけでほとんど済むようになれば、家での時間ができるから、本を読むようになるかも。学校に行っているのに、塾に行かないと、ついていけない子がいる現状を変えるべき。

・子供達にどんな本が読みたいか定期的にアンケートをとって欲しい。読みたい本が無い、あるいは部数の少なさで借りれない為、家で買うようになっていますので、負担を減らしたいのが本音です。

・特典やポイントなどあれば読む…かもしれない。

・もっと市内あちこちに図書館があれば良いかと思えます。

・文化祭やバザーで上級生の読み終わった本、いらぬ本を積極的に出品してもらおうと良いかと思う。

・読書は、自らが読みたくなる環境づくりが必要ではないかと思えます。読まされる。のではなく、又ノルマなどではない、自らが読書をしたくなる楽しみ、時間づくりが出来るようになればと良いかと思えます。

・読書記録をつけたり、賞状がもらえたりすることは意識づけになっているようです。学校で読書の時間をたくさんとってほしいです。家ではなかなか読書しないので。

・学校で取り組んでいる『何冊賞』が、いつも疑問です。うちの子は、分厚い本を時間をかけて読むタイプです。薄い本を何冊も読んだ子の方が、先生に褒められ、市から？も表彰されます。

・読書活動が活発になるかわかりませんが、春のポカポカした日は芝生の上で読書をしたり、机に向かわなくても読書を楽しめたら…と思えます。

・読み聞かせボランティア活動などが活発に行われると良いと思えます。

・市立図書館で、イベントなどがあると、足が向くと思えます。

- ・すべてを図書館や学校などの公共施設任せにするのではなく、家庭で、親も本に親しむ姿を見せるのが一番だと思います。まずは、私自信が読書したいと思います。
- ・子供に人気がある本や最近出た絵本などを近くの図書館でも貸し出しして欲しい。
- ・朝に 15 分位でも集中して読める時間が確保できるといいと思う。
- ・学校行事や授業の中に図書館への訪問などを月に一回程度盛り込んで頂きたい。
- ・もっと図書室で本を借りてほしい。保護者としてがんばります。
- ・文庫本のような文章だけの本ではなく、歴史や化学、伝記などのマンガで出されている物も学校で認めてもらえたら良いと思う。
- ・一緒に読んで楽しむ。
- ・一緒に本を読み、感想などを共有し合うとよいと思います。
- ・本のわかりやすいポップなどあるといい。

◎ 学校担当者自由意見

- ・古河市として、結城市のような情報センターとして使用できるしっかりとした図書館がほしい。
 - ・新しい本や調べ学習をするために必要な本を購入する予算を増やしてほしい。調べ学習に使う本は、セットで買うと金額が高く、予算内で多くのシリーズを購入できない。古い情報の本で、調べている。また、何年度もかかって、新しい本を揃えているのが現状です。
 - ・読書の記録がもっと簡単にできるようになるといい。
 - ・学級文庫の充実にも力を入れたいと思っています。
 - ・本を借りること、返すことしか出来ない図書室では図書室の役割が不十分だと思います。調べ学習や閲覧スペースのある図書室をつくっていただきたいです。よろしくお願いします。
 - ・家庭によって読書活動に差があるので、学校でもたくさん読ませたいが、時間がとれないのが現状。図書室や学級文庫の本が古いので、リサイクル本などの情報(他館についても)を頂けると助かる。
 - ・端末が児童に配られているので、電子書籍での読書を前向きに取り入れていくことも必要なのではないかと思います。
 - ・小さな学校は蔵書数が少なく、古い本が多いです。学校差がある気がします。もっと子供達に本を読ませたいので、たくさん本を買ってほしいです。
 - ・もっと新しい本が買えると嬉しいです。
 - ・図書室が狭く、書棚が足りないため、本が置ききれない。新しい書棚がほしい。
 - ・図書館支援員の先生のおかげで、業務がスムーズに遂行できています。
 - ・読み聞かせをしたいが、コロナ禍で思うように活動できない。給食の時間に、お昼の放送で読み聞かせを行っているが、できれば、読み聞かせのCDを流したい。市の図書館に探しに行ったが、あまり充実していないので、読み聞かせのCDを揃えていただけるとありがたい。
 - ・読書活動のためには、近くに本を読む環境を整えることが必要だと思います。
- 学級に本を置く、読書の時間を確保する、教師が気になる本(おすすめの本)を紹介するなど、様々な手立てが必要かと思っています。
- ・学校の時間の中で、放課後の時間を作り出すために、日課表を見直し、朝の時間に読書の時間を設けることは、大変厳しいのが現状です。また、家庭教育の中で、読書活動を活発にするためには、三和図書館のように、大きく、清潔で、蔵書図書が多ければ、保護者や子供たちの興味関心が高まり、利用頻度があがると思います。総和地区、古河地区の図書館は、狭く、利用しにくい印象があります。
 - ・開館日をできれば毎日にしてほしい。行事などで昼休みが無くなる場合があると、貸し出しができない。
 - ・ブックトークなどを、学校に出前で行ってほしい。

◎ 保育園・幼稚園・児童クラブ自由意見

・過去に図書館を利用していたが、100冊借りると返却時に2冊以上紛失してしまい、その都度弁償していたことから利用を中止しました。現在は会社から提供される絵本や紙芝居の読み聞かせを実施していますが、支援員が実施するよりも専門の方に読み聞かせをしていただければ児童も喜ぶと思います。

・市バスを利用して年長児を三和図書館に連れて行き、読書手帳を作成してもらい、絵本を借りるといった試みができるとよいと思う。読書手帳のお知らせをし含めて、図書館の方やボランティアさんに保育所に読み聞かせに来てもらえるような機会があるとよい。

・乳幼児期においては大人の絵本の読み聞かせは非常に大切だと考えます。大好きな大人の膝の上で繰り返し読んでもらったり、お友達と一緒にわくわくしながら見る絵本の時間は子どもたちにとって格別だと思います。絵本をたくさん読んでもらった子は、自らも絵本を手にとることが多いように思います。絵本を読むことが大好きになれば、それはやがて本を読むことにも繋がっていくのではないかと思います。私個人の経験としては、学校での課題図書（感想文の宿題付き）を読むことは非常に苦痛でした。両親からも「本を読むように」と言われ続けましたが、言われれば言われるほど読む気がなくなりました。押しつけは逆効果になります。しかし、大人になって漫画や映画、ドラマなどを見て興味を持ったお話の原作を読んだり、ライトノベルの小説にのめり込んだりと、読書の楽しさを知った気がします。押しつけではなく、身近にいろんな本があり、興味に合わせて手に取ることができる環境（人的環境も含めて）があれば読書活動を活発にしていけるのではないかと思います。最初から『文字ばかりを読む』のはハードルが高いので、まずは絵本や漫画からスタートできるといいのではないのでしょうか。保護者は年齢に応じた絵本が分からないと思うので、簡単な年齢に応じた絵本リストがあると良いのではないのでしょうか。

・大型絵本、新しい本などをいれて頂けると嬉しいです

・テレビやゲームが発達している時代で、本を読む機会は減っていますが、活字を読む楽しさを知ってほしいと思います。マンガでもいいので、読んでいる姿を見たら、感想を聞きながら、だんだん字数の多い本を選べるように、促したいと思います。図書館への要望は、特にありません。

○古河市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

平成29年5月18日

教育委員会告示第5号

改正 平成30年3月29日教育委員会告示第1号

平成30年5月17日教育委員会告示第6号

令和2年3月27日教育委員会告示第1号

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)第9条第2項の規定に基づく古河市子ども読書活動推進計画(以下「推進計画」という。)を策定するため、古河市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項について調査及び検討し、その結果をまとめ、古河市教育委員会に報告するものとする。

- (1) 推進計画の策定に伴う総合調整に関すること。
- (2) その他推進計画の策定に関し必要な事項

(組織)

第3条 策定委員会は、次に掲げる者のうちから古河市教育委員会が委嘱又は任命するものをもって組織する。

- (1) 古河市図書館協議会の代表 1人
- (2) 図書館ボランティア協力員の代表 3人
- (3) 私立幼稚園・認定こども園連合会の代表 1人
- (4) 民間保育園協議会の代表 1人
- (5) 市立小学校長の代表 1人
- (6) 市立中学校長の代表 1人
- (7) 学識経験者 3人

2 策定委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

3 委員長は、策定委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(委嘱期間)

第4条 委員の委嘱期間又は任期は、委員の委嘱又は任命を受けた日から第2条に規定する報告が終了するまでとする。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の委嘱期間又は任期は、前任者の残任期間とする。

附 則（平成30年教育委員会告示第1号）
この告示は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年教育委員会告示第6号）
この告示は、平成30年5月17日から施行する。

附 則（令和2年教育委員会告示第1号）
この告示は、令和2年4月1日から施行する。

別表（第8条関係）

小学校図書担当教諭 1人
中学校図書担当教諭 1人
子ども福祉課 1人
子育て包括支援課 1人
指導課 1人
生涯学習課 1人
社会教育施設課 1人
古河図書館 1人
三和図書館 1人

古河市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿（敬称略）

NO	氏名		団体名（任期）	役職
1	栗山 勝広	くりやま かつひろ	古河市図書館協議会代表 （令和4年7月～5年1月）	委員長
	飯田 明	いいだ あきら	古河市図書館協議会代表 （令和5年7月～）	委員長
2	関 直美	せき なおみ	ブックスタート総和地区代表	
3	中西 由美子	なかにし ゆみこ	ブックスタート古河地区代表	
4	畠山 美弥子	はたけやま みやこ	ブックスタート三和地区代表	
5	菅 久子	すが ひさこ	私立幼稚園・認定こども園連合 会代表	
6	浅井 道浩	あさい みちひろ	古河市民間保育協議会代表	
7	小林 智	こばやし さとし	小学校長代表古河第五小学校長	
8	久下 典子	くげ のりこ	中学校長代表 総和北中学校長 （令和4年7月～5年3月）	
	石塚 浩司	いしづか こうじ	中学校長代表 三和中学校長 （令和5年7月～）	
9	鮎川 洋子	あゆかわ ようこ	学識経験者	
10	岡田 孝志	おかだ たかし	学識経験者	副委員長
11	大久保 修	おおくぼ おさむ	学識経験者	

任期 令和5年7月1日～古河市子ども読書活動推進計画を古河市教育委員会に報告
するまで

策 定 経 過

日 程	内 容	
令和4年	7月25日	第1回策定委員会 ・計画概要と策定スケジュールについて
	9月15日	第1回ワーキング部会 ・子ども読書活動推進計画概要とスケジュール ・アンケートについての協議
	10月27日	第2回策定委員会 ・アンケートの実施について
	11月14日 ～ 12月16日	アンケートの実施 対象 小学2年、5年生とその保護者 中学2年生とその保護者 市内小中学校の図書担当者 市内保育所（園）、幼稚園、児童クラブ
令和5年	1月	アンケート集計
	2月15日	第2回ワーキング部会 ・小中学校アンケート結果及び解析案について ・アンケート結果による各部署での今後の取り組み等について
	3月20日	第3回策定委員会 ・小中学校アンケート結果及び解析案について
	7月12日	第3回ワーキング部会 ・保護者、学校、保育施設アンケート結果及び分析案について
	7月26日	第4回策定委員会 ・保護者、学校、保育施設アンケート結果及び分析案について
	9月20日	第4回ワーキング部会 ・古河市子ども読書活動推進計画（第二次）（案）について
	10月30日	第5回策定委員会 ・古河市子ども読書活動推進計画（第二次）（案）について